

プログラム概要(案)

I コマ目(45分)	
場所	各自の教室
講師	担任の先生
内容	「知ろう!心のバリアフリー」
講義 (約10分)	1. いろいろな人がいることを知る ・人はだれもが違っている ・見た目では分かりにくい特性 ・困っていることは一人一人ちがう
講義 (約15分)	2. 「バリア」を知る ・なぜ困りごとが起きるのか ・「バリア」は社会(世の中)にある ・なぜ社会(世の中)にバリアがあるのか ・どのようなバリアがあるのか
講義 (約15分)	3. 「心のバリアフリー」を知る ・障がいの社会モデルを理解する ・差別をしない。合理的配慮をする ・コミュニケーションを取る、困りごとを想像し、共感する
講義 (約5分)	4. まとめ

2コマ目(45分)	
場所	体育館
講師	市職員
内容	「考えてみよう!心のバリアフリー(コミュニケーション編)」
講義 (約10分)	1. ふりかえり ・人はだれもが異なっている ・心のバリアフリーを実現するポイント ・心のバリアフリーとは
動画視聴 (約15分)	2. 共感する ・自身の特性について ・社会的障壁について ・コミュニケーションの大切さについて
プリント (約10分)	3. 想像する ・どのような人が、どのようなことで困るか
プリント (約10分)	4. コミュニケーションを取る ・困るごとを解消するためにどのような方法があるか ・困るごとを解消するためにあなたはどうか

3コマ目(45分)	
場所	体育館
講師	市職員
内容	「考えてみよう!心のバリアフリー(障がいの社会モデル編)」
クイズ (約10分)	1. バリアを減らす工夫 ・児童に身近な物を題材に、社会的障壁を減らす工夫を知る
講義 (約10分)	2. バリアを減らす社会の取組 ・県みんなのバリアフリーまちづくり条例 ・ソフトの取組(コミュニケーションボード、オンライン参加など) ・心のバリアフリー教室
プリント (約10分)	3. 障がいの社会モデルを考える ・自宅で過ごすストーリー ・どのような物があると良いか ・あなたにできることは何か
講義 (約5分)	4. まとめ
宿題説明 (約10分)	1. 学校生活 ・利き手をケガしている児童が学校生活を送るストーリー 2. 学校における避難生活 ・体育館で様々な人々が避難性積活を送るストーリー 3. 感想